

市議会だより くくるめ

第178号

平成27年
11月1日発行

発行：久留米市議会
編集：議会広報委員会
久留米市城南町15番地3
TEL 0942(30)9305
FAX 0942(30)9720

重要無形文化財 久留米餅「水光」
（公財）久留米餅技術保存会蔵



プラザができたなら、みんなで遊ぼうよ
(10月11日 久留米シティプラザ プレ事業)

マイナンバー制度に関する条例など 19 議案を議決

平成27年

CONTENTS 9月定例会号

- 定例会の概要 2
- 市政に対する一般質問 4
- 行財政改革調査特別委員会を設置 7
- 常任委員会の活動状況 8
閉会中に実施した所管事務調査の概要をお知らせします
- 教えて！くるっぱ！ 12
～議会を身近に感じたい～

定例会の概要

9月4日から18日までの15日間の日程で、平成27年第4回市議会定例会を開催しました。

9月4日は、市長から平成27年度一般会計補正予算や手数料条例の一部を改正する条例、廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例など17議案の提案説明がありました。

9月8日から11日までは、議員が市政に関する事務の執行状況や将来の方針などについて、市長、教育長や選挙管理委員会委員長に一般質問を行いました。（☞4P）

14日には教育民生常任委員会と建設常任委員会、15日には経済常任委員会と総務常任委員会を開催し、それぞれの委員会に付託された補正予算議案や条例議案などを審査しました。（☞2P）

16日には議会運営委員会を開催し、本会議最終日の議会運営や、市長から追加提出される議案の取り扱いを協議しました。

18日の本会議では、各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決、または承認し、追加提出された人権擁護委員候補者の推薦などの人事議案についても同意しました。（☞3P）

そのほか、26年度決算に関する議案17件が提出され、定例会閉会後に決算審査特別委員会で継続審査をすることになりました。

また、行財政改革調査特別委員会を設置して、閉会中に行財政改革に関する調査を行うことを決定し（☞7P）、第4回市議会定例会を閉会しました。

議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。ここでは、主な議案について、その内容と委員会における審査状況をお知らせします。

可決！ 第89号議案 久留米市手数料条例の一部を改正する条例〔付託先：総務常任委員会〕

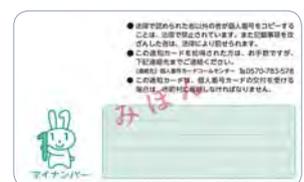
平成28年1月から社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の運用が開始されることに伴い、住民票を有する全ての人に交付される「通知カード」及び申請者に交付される「個人番号カード」の再交付などに係る手数料を定め、あわせて27年12月で発行を終了する「住民基本台帳カード」に係る手数料を廃止しようとするものです。

委員から「個人番号カードに記載される顔写真は、市役所に申請に来た際に持参しないといけないのか。それとも、市役所で撮ってもらえるのか。また、個人番号カードには有効期限が定められているが、更新のたびに顔写真も更新するのか」との質疑があり、総務部総務課から「顔写真は、基本的には申請の際に持ってきていただくことになる。また、有効期限は成人が10年、未成年が5年と定められているため、顔写真についても、その都度更新していただくことになる」との答弁がありました。

（表）



（裏）



住民票を有する全ての人に交付される「通知カード」

（表）



（裏）



申請者に交付される「個人番号カード」

可決！

●第97号議案 久留米市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例〔付託先：建設常任委員会〕

家庭ごみ用と事業所ごみ用の指定袋の廃棄物処理手数料等の見直しや、粗大ごみの家屋外への持ち出しサービス新設などのために条例を改正するもので、平成28年4月1日から施行されます。

委員から「3月まで使用できたごみ袋を4月1日以降に出された場合はどうするのか。市では、回収しないということだが、ごみ袋を出した家庭を調査するのか」との質疑があり、資源循環推進課から「これまでのごみ袋で出された場合は、警告ステッカーを貼り、袋の中身を調査した上でそのまま集積場に置いておくことを考えている。集積場の利用世帯にチラシを投函するなど、新しい袋の使用のお願いについて、地域や分別推進員の皆さんの協力を得ながら取り組んでいきたい」との答弁がありました。

承認！

●第82号議案 交通事故による損害賠償の専決処分^{*}について〔付託先：教育民生常任委員会〕

公務中に発生した交通事故により、被害者が受けた損害を市が賠償するために専決処分をしたので、議会に報告し、承認を求めるものです。

委員から「交通事故の発生が多いということで、各部署では職員に交通安全についての研修や、さまざまな啓発を行っている」と聞いている。市役所全ての部署で、交通事故ゼロを目指して日々の業務を行っていただきたい」との意見が出されました。

^{*}専決処分…議会が議決すべき事柄について、緊急を要するため議会の招集する時間的余裕がないなどの場合に、市長が議会に代わって決定すること。専決処分した事柄は、次の議会で報告し、承認を求めることになっている。



地域の集積場で活動される分別推進員さん

可決！

●第93号議案 久留米市まちの駅条例を廃止する条例〔付託先：経済常任委員会〕

まちの駅は、六角堂プラザの閉鎖に伴い、平成25年4月に休憩の場、市政情報などの情報発信の場として、六ツ門商店街内に整備されました。28年4月にオープンする久留米シティプラザの中に、まちの駅と同様の機能が備えられることから、27年12月に廃止するものです。

なお、まちの駅の後の施設は、株式会社ハイマート久留米により、久留米地域の地場産品を取り扱う地域物産店にリニューアルする予定です。

委員から「現在のまちの駅は、町なかを歩いている人が気軽に立ち寄ることができないように感じた。今後事業を引き継ぐ予定のハイマート久留米に対して、利用しやすい施設となるよう今までの経験を伝えた上で、本市のPRにも取り組んでいただきたい」との意見が出されました。



平成27年12月に廃止される「まちの駅」

同意した人事案件

市長が選任または任命する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。なお、敬称は省略しています。

●人権擁護委員

北野町 坂本 光夫

城島町 坂井 保子

城島町 藤永 五雄

提出議案の審議結果は、ホームページでごらんいただけます。

久留米市議会 議案と結果

検索

クリック

今回は、若者の投票率向上、国道322号線の渋滞緩和に向けた取り組み、小中学校の通学区域の緩和、動物愛護ボランティアなどについて、質問が出たっば。



久留米市
イメージキャラクター

くるっば

市政に対する 一般質問



若者の投票率向上に向けた取り組みを

公明党議員団 山下 尚

問 本年6月に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳に引き下げられた。来年の参議院議員選挙から、新たに約240万人の18・19歳が有権者となる。近年、若者を含め投票率は低下傾向にあるが、これまで若者に対してどのような啓発活動を行ってきたのか。

また、若者の投票率向上策の一つとして、大学構内に期日前投票所を設置できないか。

答 若者の投票率の低さは顕著であり、選挙時の啓発とともに、地道な活動を継続していくことが重要であると考えている。今年、市議会議員選挙では、若者の目にとまりやすいよう選挙公報の大学構内への設置やコンビニでのレジ画面広告等を実施してきた。

今後、選挙権年齢が引き下げられ、若者への啓発はますます重要となる。そのため、大学構内への期日前投票所の設置については、先進事例を調査・研究しながら、検討していきたいと考えている。



自転車マナーの周知徹底を

公明党議員団 太田 佳子

問 本年6月の道路交通法の改正により、信号無視などの危険な行為を繰り返す14歳以上の自転車運転者に対し、講習受講が義務付けられた。傘差し運転なども安全運転義務違反に含まれるが、具体的な違反内容を知らない市民が多い。自転車運転者への自転車のマナーの周知徹底をどのように進めていくのか。

答 本市では、セーフコミュニティの中で自転車事故防止を重点取り組み項目としているほか、自転車利用促進計画の中でも、自転車事故防止やマナー向上の啓発活動などを積極的に進めることとしている。具体的には、広報紙での法改正の周知や子どもたちのところに交通安全のルールやマナーを身につけることが重要と考え、全小学校で交通安全教室を行っている。

今後も、自転車事故を防止する観点から、法改正の周知とともに、安全利用の啓発活動や自転車通行空間の整備などの取り組みを進めていきたい。

アライグマ被害に対する取り組みは

みらい久留米議員団 秋永 峰子



問 本年に入り、本市では屋根裏に住みついたアライグマによる糞尿などの被害が発生した。アライグマは繁殖力が強く、今後さらにふえていくと考えられるが、捕獲・処分に係る費用は個人負担である。

これまでのアライグマ被害に対する課題、今後の取り組みについて伺いたい。

答 本市では、アライグマ防除実施計画により、暗視カメラ等で確認し、市が委嘱または任命した捕獲従事者が捕獲・処分を行っている。本市における防除は、開始して2カ月程度と期間が短く、寄せられる情報も少ない上、タヌキ等の誤報も多く、アライグマの分布状況の把握が不十分などの課題がある。

今後は、目撃情報等を精査することで、分布状況の把握に努め、効果ある防除を図りながら、危険性についても周知・啓発を行い、被害報告が多い地域では地元と協働した取り組みも検討していきたい。

*ほ場整備における農家負担の状況は

緑水会議員団 栗原 伸夫



問 農地は農作物の生産の場だけではなく、洪水の防止や良好な景観づくりなど、多面的な機能を持っている。

ほ場整備を行うことにより、その機能を高めることができるが、本市におけるほ場整備の実施状況と農家の負担状況を伺いたい。

答 平成26年度末現在のほ場整備事業の進捗状況は、整備中の地域を含めると95.3%である。ほ場整備を県営事業で実施する場合、事業費の負担割合は国50%、県30%、地元20%であるが、地元負担の半分を市が負担し農家負担の軽減を図っている。

ほ場整備の推進には、農家の負担が大きいことから、さらなる負担軽減のために、事業費の抑制などを検討している。今後も本市の農業を持続的に発展させていくために必要なほ場整備を進めることで、農地が有する多面的機能の向上を図っていききたい。

ほ場整備…農業生産性の向上や農地が有する洪水防止機能などの多面的機能の向上、農村環境の整備を図るため、農地の区画整理や道路・水路等を一体的に整備すること。

国道322号線の渋滞緩和に向けた取り組みは

久留米たすき議員団 松岡 保治



問 平成26年3月の東合川野伏間線開通により、市民から便利になったという声をよく耳にする。

一方で、この開通により、国道322号線久留米インターチェンジ付近から合川大橋北側までの区間では、通勤ラッシュの時間帯に激しい渋滞が発生している。市として渋滞緩和策に取り組んでいるのか。

答 渋滞の原因として、合川大橋北側交差点での右折車による直進阻害や東合川野伏間線全線開通後の交通量増加などが考えられる。これまでも朝の時間帯の右折禁止規制など渋滞緩和策を実施してきたが、現在も解消されていない状況である。

今後は、国事業の国道3号鳥栖久留米道路や、県事業の久留米筑紫野線バイパスが開通することにより、交通量が分散し、渋滞緩和も期待されることから、早期完成に向けた事業協力や、国・県への要望を積極的に行っていきたい。

若者の出会いのきっかけづくりを

緑水会議員団 森崎 巨樹



問 国の機関の調査によると、交際相手を持たない若者が交際する上での不安として、男女の多くが「異性との出会いの場所がわからない」と回答している。

他の自治体では、自治体が主体となった出会いのイベントが行われているが、若者の出会いのきっかけづくりに対する本市の考え方について伺いたい。

答 本市では、今年3月に結婚や子育てなどをテーマに婚学セミナーを開催し、結婚観の醸成を図る取り組みを行っており、今年度も同様の趣旨で連続講座の開催を予定している。また、久留米広域市町村圏事務組合では、平成21年度からバスツアーなどを通じた結婚サポート事業を実施している。

現在策定中のまち・ひと・しごと創生総合戦略では、若い世代の結婚や子育ての希望をかなえることを基本目標の一つに掲げており、出会いの場の提供を含めた具体的な施策を今後検討していきたい。



正規教職員の配置増に向けた対応は

日本共産党議員団 甲斐 征七生

問 本市の平成27年度の小中学校及び特別支援学校の非正規教職員の配置数は、昨年度に比べ改善傾向にあるものの、依然として県平均を大きく上回っている。非正規教職員の実態と今後の対応策について伺いたい。

答 今年度の正規教職員配置数は、小学校で定数922人に対し793人、中学校では定数504人に対し384人、特別支援学校では定数94人に対し48人となっており、不足分は常勤講師で対応している。県教育委員会に対し、より多くの正規教職員が配置されるよう、繰り返し要望してきた結果、今年度は例年よりも多くの新規採用教職員が配置されており、正規教職員の割合が増加に転じたところである。

今後も、小中学校校長会とも連携し、小中学校と特別支援学校の人事権を有する県教育委員会に対し、正規教職員の配置拡大を強く要望していきたい。



高齢者が地域で活躍できる仕組みづくりを

明政会議員団 権藤 智喜

問 元気な高齢者の方が、これまで培った知識や技術を生かして地域で活躍することで、地域を支える存在になると考える。

高齢者が担い手として社会参加することで、地域を支える力となるよう、本市でも高齢者が活躍できる仕組みづくりを進める必要があるのではないかと。

答 本市では、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える仕組みについて、社会福祉協議会と連携しながら「ふれあい訪問活動」などの支援を行っている。さらに、今年度から「第6期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」がスタートし、平成37年を見据えた地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを本格化させたところである。

高齢者の豊富な知識や経験等を生かし、生きがいを感じながら地域の担い手として活躍できる支え合いの仕組みとなるよう、取り組みを進めていきたい。



小中学校の通学区域の緩和を

明政会議員団 田住 和也

問 本市には、中学校進学時に1つの小学校から複数の中学校へ分かれる小学校がある。同じ中学校への進学者が少ない中学校区域に居住する児童や保護者が抱える進学に対する不安を解消するため、通学区域の緩和は考えられないか。

答 本市では、住所地を基礎とした指定校制度を原則とし、中学校進学を見据えた小学校の通学区域の緩和は行っていない。また、現在の通学区域は、学校の新設や地域の事情などの経過を踏まえて設定しており、見直しは非常に難しいと判断している。

そのため、中学校への適応不安の解消などを目的とした中学校選択制度を平成18年度に導入し、通学区域の課題解消を図ってきた。今後も、児童と保護者に対し学校公開や中学校選択制度に関する情報提供を行い、生徒が中学校での学習や生活に円滑に適應できるよう、小中連携教育を推進していきたい。



人工芝サッカーグラウンドの整備は

久留米たすき議員団 早田 耕一郎

問 本市では、土のグラウンドが多く整備されているが、^{*}t o t oの助成金を利用することにより、グラウンドの人工芝化が可能となる。人工芝グラウンドは天然芝に比べ管理も比較的容易であり、低予算での整備が可能である。この助成金を利用して、人工芝グラウンドを整備する考えはないのか。

答 t o t oの助成金は、グラウンド面積が4,000㎡以上や公式競技を行うことができるなど競技スポーツに主眼をおいた事業が要件となっている。

市内の既存のグラウンドは、地域の方が多目的に利用することを前提に整備した広場であるため、人工芝化をすることにより野球やソフトボールなどほかのスポーツに支障を来す可能性がある。

そのため、既存グラウンドを人工芝化することは、助成金の要件や現在の利用状況などを踏まえると、課題も多く難しい状況であると判断している。

^{*}t o t oの助成金…Jリーグで指定された試合結果を予想するスポーツ振興くじで得られた収益を財源に、スポーツの国際競争力の向上、地域のスポーツ環境整備・充実など、スポーツの普及・振興を図るために自治体等が活用できる助成金のこと。

世界つつじセンターの役割と取り組みは

明政会議員団 山田 貴生



問 久留米つつじは、愛好家の手により延べ750品種を超える改良が行われてきたが、現在目にできるのは300品種程度と言われている。現在は、市内の多くの場所で盆栽や庭木などで育てられている。

久留米つつじを取り扱う世界つつじセンターの役割と、その取り組みについて伺いたい。

答 センターは、みどりの里づくり推進機構がつつじ文化の振興と緑花木の生産振興を図ることを目的に、研究開発や管理運営を行っている。これまでも「紅かすり」等を新品種として登録しており、昨年も新たに2品種が商標登録されている。また、つつじの普及などのために、平成17年度から施設を一般開放しており、施設の魅力向上にも努められている。

まずは、センター内のつつじの適正な保存管理が最も重要だと考えており、つつじの普及推進や魅力発信についても機構と連携して進めていきたい。

動物愛護ボランティアの養成を

明政会議員団 山村 太二



問 本市では、動物愛護団体やボランティアなどの協力を得て、平成27年2月に久留米競輪場等の野良猫に不妊去勢手術を行った。動物管理センターによる犬猫の譲渡活動を含め、本市の動物愛護政策にはボランティアが必要不可欠であると考えますが、ボランティアの現状をどのように把握しているのか。

答 本市の動物愛護の取り組みには、地域や団体などとの協働が重要であり、中でも動物愛護の推進を図る上では、ボランティアの養成が不可欠だと考えている。しかし、市では動物愛護ボランティアの登録制度を設けておらず、また、グループ内のメンバーも流動的であるため把握できていない。

今後は、市の動物愛護の方針を十分に御理解いただけるよう周知に努める必要があると考え、研修会等で動物の取り扱いに関する法規制等を周知しながら、ボランティアの養成を図りたいと考えている。

行財政改革調査特別委員会が設置されました

定例会の概要（2P）でお知らせしたとおり、平成27年9月18日の本会議で、行財政改革調査特別委員会（定数10人）が設置されました。

特別委員会とは、特定の事件を審査するために設置された委員会のことをいい、議会の議決を経て設置されます。

今回設置された行財政改革調査特別委員会では、市内の公共施設に関することについて、調査・研究を深めていく予定です。

委員会の開催日程は、決定次第、市議会のホームページでお知らせしますのでごらんください。または、議会事務局（Tel0942-30-9305）にお尋ねください。

委員長	石井 俊一（久留米たすき議員団）
副委員長	山下 尚（公明党議員団）
委員	田住 和也（明政会議員団）
〃	石井 秀夫（明政会議員団）
〃	古賀 敏久（みらい久留米議員団）
〃	甲斐田義弘（久留米たすき議員団）
〃	永田 一伸（明政会議員団）
〃	原口 新五（明政会議員団）
〃	田中 多門（緑水会議員団）
〃	坂井 政樹（公明党議員団）

常任委員会の活動状況（7月～8月）

総務常任委員会

▶7月23日・8月11日

▷久留米シティプラザについて

平成28年春の開館に向け、施設整備を進めている久留米シティプラザについて、7月23日に開館後の事業計画などの説明を受け、その後、建設現場の現地調査を行いました。

8月11日は、開館までの業務スケジュールや開館記念式典のプログラムなどについて、^{*}久留米シティプラザから説明を受けました。

Q 平成28年4月27日から5月8日までの12日間において、シティプラザではさまざまなオープニング事業が計画されているが、市民の参画による事業も検討しているのか。

A オープニングの催事については、市民から公募した事業や市内小中学校の児童生徒による事業を行う予定である。今後は、具体的な取り組みについて、関係者としっかりと協議をしながら進めていきたい。

Q 開館して公演が始まれば、市民の方々などにボランティアとして施設の運営に参加してもらうことも考えられる。ボランティアを音楽や演劇などの分野ごとに整理することや、事前の研修なども必要だと思うが、どのように考えているのか。

A 現在、行っているプレ事業の中でも、まちづくり団体などと連携した取り組みをさせていただいており、関係づくりはできている。今後は、そういう取り組みを継続しながらも、さらに、新たな募集も行い、多くのボランティアが参画できるような仕組みづくりを早急に行っていきたい。

※平成27年7月1日の組織改正により、久留米シティプラザ推進室は組織名を「久留米シティプラザ」に変更しています。

▶8月26日

▷久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

今後、本格化する人口減少に歯どめをかけるために、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定する久留米市版総合戦略について、総合政策課から説明を受けました。

Q 全国的に結婚する人が減ってきており、生涯独身の方もふえてきている。若い世代に対し、結婚観や家庭観を考えてもらう取り組みについて、どのように考えているのか。

A 結婚をしなくていいという若者がふえていることは認識している。これは、結婚支援をする以前の問題であり、学生などの若い世代から結婚観や家庭観について考えてもらう取り組みについて検討していきたい。

Q 本市は、ものづくりに関して高いポテンシャルを持っていると考える。実際に、本市で創業して全国規模になった企業もあり、そういう本市の魅力若者に知らせることが必要ではないか。

A 地場企業の魅力について掘り起こしを行い、販路拡大などの支援をするとともに、学生の地元就職を推進する産学官の仕組みが必要と考えている。今後は、こうした仕組みを通して、本市の魅力を広く発信していきたい。



地場企業の魅力を伝える情報誌
(市労政課発行)

教育民生常任委員会

▶7月21日

▷児童虐待について

保護者や保護者にかわる養育者が子どもの心身を傷つけ、健やかな成長や発達を損なう行為である児童虐待について、本市の現状や今後取り組むべき課題などについて、家庭子ども相談課から説明を受けました。

Q 市や関係機関が虐待を把握し、対応していたにもかかわらず、平成22年6月に子どもが死亡する事件が発生した。このことについて、どのような再発防止策がとられているのか。

A 事件発生後に設置された検証委員会から「対応体制の充実」など4つの提言がなされた。それに基づき、国・県が行う研修への派遣などによる相談員の知識の習得や、専門職の配置など組織全体の専門性の向上に向けた体制の強化などに取り組んでいる。

Q 虐待の種類別対応件数の割合を見ると、本市では国や県と比較して、^{*}ネグレクトの割合が高い。この要因としてどのようなことが考えられるのか。

A 児童虐待防止に向けた広報・啓発を進めており、市役所が連絡・相談の最初の窓口という認識が市民の間に浸透してきている。その結果、いつも同じ服を着ているなど子どもの外見からわかる比較的軽微と思われる事例でも、周囲の方がまずは家庭子ども相談課に連絡・相談することが多くなっているためだと考えている。

※ネグレクト…保護者や養育者が幼児や児童に対し保護や養育などを怠り、放任する行為のこと。例えば、食事を与えない、病気やけがをしても病院に連れて行かないなどの行為が挙げられる。

▶8月27日

▷青少年の非行防止活動について

本市における青少年の非行や非行防止活動の現状と課題、今後の取り組みなどについて、青少年育成課から説明を受けました。

Q 犯罪の種類別の検挙補導人員を見ると万引きなどの窃盗犯が非常に多い。被害に遭ったときの対応について、店主や商店組合などどのように連携しているのか。

A 本市では、学校と警察などで構成する久留米地区学校警察連絡協議会が主催する万引き防止懇談会が開催されている。その中で、店主や商店組合などに、被害に遭った場合は家庭に連絡するだけでなく、学校や警察へ届けるようお願いしている。

Q 本市での刑法犯少年の検挙補導人員は、平成15年をピークに減少している。一方で、低年齢化が進んでいるということであるが、年齢別に統計を取っているのか。

A 年齢別では、15歳が最も多く、14歳、16歳の順に多くなっている。検挙補導人員全体の7割を中学生と高校生が占めており、13歳から急増している状況である。



小学生向けの「非行防止教室」の様子

常任委員会の活動状況（7月～8月）

経 済 常 任 委 員 会

▶ 7月22日

▷ 久留米市農業振興地域整備計画について

優良な農地の確保・保全と、農業振興のための各種施策を計画的に実施するために策定する総合的な農業振興の計画案について、農政課から説明を受けました。

Q 農業従事者などの安定的な就業促進を図る方策として、「農業上の土地利用との整合性を図りながら、新たな産業団地の整備に取り組む」とあるが、どのような企業を誘致しようと考えているのか。

A 産業団地は、農地を廃止してつくるという場合がある。そのため、優良農地は確保・保全を前提としながら、誘致する企業については経営的に優良であることとあわせて、農業振興に寄与する企業が誘致されるよう関係部局との調整を行っていきたい。

Q 災害などで、個人所有の農地が被害を受けた場合、復旧作業は個人で行わなければならないのか。

A 平成24年の九州北部豪雨災害では、市内の多くの農地が被害を受けたが、市では国や県の補助事業も活用しながら、農地の復旧支援に取り組んだ。



九州北部豪雨で被害を受けた農地

▶ 8月27日

▷ 久留米市企業局中期経営計画について

安全で安心な水を提供することや、汚水を適正に処理するため、本市企業局が目指すべき目標や課題に対する今後の取り組みなどについて、企業局から説明を受けました。

Q 水道事業における災害時の行動マニュアルの作成に2年間も要するのはなぜか。災害はいつ発生するかわからないため、作成を急ぐべきではないのか。

A 現在も基本的な危機管理マニュアルを作成し、訓練などを行い災害時対応に備えている。災害時には、さらに広域的な連携も必要となるため、関係機関と十分な協議を重ねた上で作成したいと考えている。

Q 下水道事業の現場を担当する技術職員の多くが退職し、技術力の低下が危惧される。下水道管の破損は、上水道管の破損以上に市民生活に不都合をもたらすということであるが、どのように考えているのか。

A 現状では、現場での対応力も含め、技術力の継承に課題があると認識しており、今後も外部研修などを活用し、技術力の向上に努めたい。災害時の下水道管の破損などについては、土木協同組合や維持管理協同組合などと連携して取り組むことができるような災害協定を締結している。



下水道の工事現場で研修を受ける職員

建設常任委員会

▶7月24日

▷平成27年度主要事業について（環境部）

環境部が実施する主要事業のうち、「久留米市地球温暖化対策実行計画」、「宮ノ陣クリーンセンター整備」などの4つの事業について、環境政策課など各所管課から説明を受けました。

Q 宮ノ陣クリーンセンター内の環境学習施設において、ボランティアが環境問題を教えるなど、市民と協働した環境啓発活動はできないか。

A 施設の運営方法はまだ決定していないが、ボランティアとの協働を視野に入れたと思っている。また、施設内の特別展示室の活用も含めて、イベントなどについて部内で検討を進めているが、環境問題に詳しい方の意見も聞きながら、よりよい施設にしていきたい。

Q 地球温暖化対策の基本方針の1つである[※]3Rの推進には、具体的にどのように取り組んでいるのか。

A 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減には、燃やすごみと埋めるごみの減量が効果的である。そのため、生ごみを中心としたごみの発生抑制や公共施設における小型家電の拠点回収に取り組んでおり、来年度からは一部のプラスチックを燃やさずリサイクルし、小型家電も分別収集を始める。今後も、ごみを出さないことを最優先に取り組みたい。

※3R…Reduce リデュース（ごみの発生抑制）、Reuse リユース（再使用）、Recycle リサイクル（ごみの再利用）のこと。

▶8月31日

▷平成27年度主要事業について（都市建設部）

都市建設部が実施する主要事業のうち、「公共交通の利用促進」、「防災機能の充実・強化」などの4つの事業について、交通政策課など各所管課から説明を受けました。

Q 本市では、市内を運行する路線バスの9路線に年間約7,000万円の運行補助を行っている。利用者をふやすことで市からの補助金を減らすことができると考えるが、利用促進の取り組みについて、バス事業者と早急に協議ができないか。

A 補助路線の中には、スーパーの前にバス停が欲しいという市民からの要望を受け、現在、警察やバス事業者とバス停設置に向けた取り組みを進めている路線もある。今後も、少しでも補助金の交付が少なくなるよう取り組んでいきたいと考えている。

Q 消防団員の確保については、市域内でも充足率に差があると思う。団員確保のためにどのような取り組みをしているのか。

A 現在の本市の状況は、定数1,587人のうち実員1,515人で、充足率は95.5%である。消防団員の確保のため、今年度は消防団員の定年の引き上げに取り組んでいる。また、退職した消防団員などで組織する[※]機能別団員の確保に向けた取り組みについても協議を進めることとしている。



県の女性消防操法大会の様子

※機能別団員…消防団の全ての活動に参加することが困難な場合に、「火災予防・広報団員」や「OB団員」として、特定の消防団活動を行う団員のこと。

教えて！くるっぱ！ ～議会を身近に感じたい～

議場の中を探検してみよう！

議場ってどこにあるの？



本会議が開かれる場所のことを「議場」と言って、市役所の19階にあるよ。市役所を見上げてみて。この外に出っ張ったところが19階なんだ。

議場は、議会活動の中心となる会議をする場所で、議員や市長・副市長・教育長などの特別職のほか、各部の部長などが入るんだよ。



傍聴席はどこにあるの？

傍聴席は、市役所の20階から入れるよ。本会議は公開していて、誰でも自由に入って会議の様子を見たり聞いたりすることができるんだ。

ここで、くるっぱからのお願いだよ。傍聴席に入るときは、携帯電話など音の出るものは電源を切るなど、音が鳴らないようにしてね。



議員の席はどうなっているの？

議員が議場で座る席は「議席」と言って、市議会議員選挙後の最初の本会議のときに議長が決めるよ。議席には、議席番号と議員の名前が書かれているんだ。

この席は、一度決まると議員の任期中（4年間）は基本的にそのまま、会派でまわって座るようにしているんだ。下の色分け表を参考にして、見てみてね。

公明党議員団
みらい久留米議員団
緑水会議員団
無所属クラブ
明政会議員団
久留米たすき議員団
日本共産党議員団

12番	11番	10番	9番
太田佳子	田中貴子	秋永峰子	森崎巨樹

8番	7番	6番	5番
緒方正子	榎智喜	山田貴生	田住和也

4番	3番	2番	1番
別府好幸	松岡保治	耕早一郎	金子むつみ

26番	25番	24番	23番	22番
田功一	塚本弘道	山下尚	古賀敏久	佐藤晶二

21番	20番	19番	18番
原和人	市廣一	田中良介	山村太二

17番	16番	15番	14番	13番
吉富巧	石井秀夫	陽塚一郎	原学	甲斐征七生

38番	37番	36番	35番
坂井政樹	藤林詠子	八尋義伸	栗原仲夫

34番	33番	32番	31番
田中多門	多森三郎	原新五	永田一伸

30番	29番	28番	27番
塚本篤行	甲斐義弘	石井俊一	大熊博文

傍 聴 席 (82席)